

■米国：民主党のハリス議員とオカシオコルテス議員、気候均等法案を発表

2020年の大統領選挙で民主党の候補者指名を争うカマラ・ハリス上院議員（カリフォルニア州）とグリーン・ニューディール（GND）決議案の提案者であるアレクサンドリア・オカシオコルテス下院議員（ニューヨーク州）は2019年7月29日、気候均等法（Climate Equity Act）の草案を発表した。発表によると、同法案は気候と環境の正義に基づくGNDなどの気候変動政策が歴史的、社会的に環境面での不公正に直面する地域社会（低所得層や人種的マイノリティの居住地域など）へ確かな恩恵をもたらすことを目的とする。具体的な手段では、議会予算局（CBO）が主要な法案の経済性について採点を行うのと同じ方法を用い、気候変動関連の法案がすべて公平性の面から採点されることを検討している。また両議員は、本質的にGNDは次の3つの原則に基づいていなければならないとし、第一に化石燃料の使用を中止し気候変動と闘う、第二に21世紀の良質な仕事でクリーン経済を築く、第三に地域社会が取り残されないようにすることを挙げ、同法案をGNDの重要な要素と位置付けている。今後両議員は、草案に対する地域社会のリーダーの意見を踏まえつつ、今秋にも法案の連邦議会への提出を目指す。